

平成26年度「環境研究総合推進費」新規採択研究課題

平成26年度実施課題【一般枠】

以下の課題番号で、「S」は戦略的研究開発領域、「RF」は革新型研究開発領域及び課題調査型研究領域

「K」または「J」は循環型社会形成推進研究、その他は環境問題対応型研究領域を示す。

課題番号	課題名	研究代表者	実施研究機関
戦略研究プロジェクト専門部会			
S-12	SLCPの環境影響評価と削減パスの探索による気候変動対策の推進	中島 映至	東京大学
S-13	持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発	柳 哲生	(公財)国際エメックスセンター
全領域共通・領域横断部会			
1-1401	環境保全オフセット導入のための生態系評価手法の開発	岡部 貴美子	(独)森林総合研究所
1-1402	資源価値を引き出す次世代マテリアルストックに関する研究	谷川 寛樹	名古屋大学
1-1403	愛知ターゲットの調和的達成のための生物多様性可視化技術の開発	北山 兼弘	京都大学
1-1404	簡易型乾式メタン発酵による養豚排水処理と発酵残渣の有効利用	細見 正明	東京農工大学
1-1405	衛星リモートセンシングによる広域スケール生物多様性モニタリング及び予測手法の開発	原 慶太郎	東京情報大学
1-1406	一般市民の科学技術リテラシーと環境政策に関する合意形成のあり方に関する調査研究	青柳 みどり	(独)国立環境研究所
1-1407	二次的自然「里海」の短寿命生態系におけるブルーカーボン評価に関する研究	矢部 徹	(独)国立環境研究所
脱温暖化社会部会			
2-1401	統合的観測解析システムの構築による全球・アジア太平洋の炭素循環の変化の早期検出	三枝 信子	(独)国立環境研究所
2-1402	わが国を中心とした温室効果ガスの長期削減目標に対応する緩和策の評価に関する研究	芦名 秀一	(独)国立環境研究所
2-1403	地球温暖化に関わるブラックカーボン放射効果の総合的評価	小池 真	東京大学
2-1404	地域インベントリ解析による環境成長拠点の計画と評価モデルの開発	藤田 壮	(独)国立環境研究所
2-1405	最近頻発し始めた新しい自然気候変動現象の予測とその社会応用	山形 俊男	(独)海洋研究開発機構
2RF-1401	気候変動の緩和策と適応策の統合的実施研究に関する検討	沖 大幹	東京大学

課題番号	課題名	研究代表者	実施研究機関
循環型社会部会			
3K143001	巨大地震に耐える環境安全で堅牢な最終処分場の新技術開発に関する研究	島岡 隆行	九州大学
3K143002	水銀廃棄物の安定処分技術及び評価に関する研究	高岡 昌輝	京都大学
3K143003	電子機器廃棄物および処理残渣中のガリウムとインジウムの分離回収システムの構築	國仙 久雄	東京学芸大学
3K142004	ホタテガイ中腸腺を用いた廃電子基板からの貴金属回収技術の開発	富田 恵一	(地独)北海道立総合研究機構
3K143005	溶融塩電解法を用いたネオジム磁石からの希土類元素の選択的分離回収	神本 祐樹	名古屋大学
3K143006	将来の社会・技術変化を見据えた静脈系インフラの連携によるエネルギー回収	吉田 登	和歌山大学
3K143007	有用・有害金属挙動に着目した都市ごみ焼却残渣の循環資源化トータルスキームの構築	肴倉 宏史	(独)国立環境研究所
3K143008	廃ネオジム磁石からのレアアースのリサイクルシステムの開発	吉塚 和治	北九州市立大学
3K143009	放射性CsおよびSrで汚染された廃棄物の熱処理を中心とした最終処分技術に関する研究	米田 稔	京都大学
3K143010	アジア諸国における使用済み電気電子機器・自動車の排出量推計と金属・フロン類の回収システムの効果測定	寺園 淳	(独)国立環境研究所
3K143011	大量に廃棄される非飛散性アスベスト含有建材の常温分解処理と再利用法の開発と研究	田端 正明	佐賀大学
3K143012	汚染土壌の減容化実現に向けた粘土化学的手法の開発	佐藤 久子	愛媛大学
3K143013	高性能・高耐久性リサイクルプラスチック創製のための再生技術に関する基礎研究	八尾 滋	福岡大学
3K143014	レアメタル高度分離のための新規抽出剤の開発と高効率リサイクルプロセスの構築	後藤 雅宏	九州大学
3K143015	震災に伴う人工資本・自然資本ストックの損失と対策の評価	田畑 智博	神戸大学
3K143016	都市廃棄物からの最も費用対効果の高い資源・エネルギー回収に関する研究	藤井 実	(独)国立環境研究所
3J142001	廃CRT ファンネルガラス等の無害化技術の実証化研究	門木 秀幸	鳥取県衛生環境研究所
3J143002	プラスチックと金属の結合物を分離する実用機(MPセパレーター)の開発と分離材料の再資源化の促進	三島 克己	(有)サンプラスチック
自然共生型社会部会			
4-1401	特定外来生物の重点的防除対策のための手法開発	五箇 公一	(独)国立環境研究所
4-1402	小笠原諸島の自然再生における絶滅危惧種の域内域外統合的保全手法の開発	川上 和人	(独)森林総合研究所
4-1403	希少植物・絶滅危惧植物の持続可能な域外保全ネットワークの構築	瀬戸口 浩彰	京都大学
4-1404	途上国での生物多様性と地域社会の相乗便益を目指したセーフガード策定に関する研究	奥田 敏統	広島大学
4-1405	釧路湿原にて超高密度化状態となったシカの管理を成功させる戦略と戦術	吉田 剛司	酪農学園大学
4-1406	水草バイオマスの持続可能な収穫と利活用による湖沼生態系保全技術の確立	伴 修平	滋賀県立大学
4-1407	持続的地域社会構築の核としての自然保護地域の評価・計画・管理・合意形成手法の開発	土屋 俊幸	東京農工大学
4-1408	遺伝子編集技術を用いた不妊化魚による外来魚の根絶を目的とした遺伝子制圧技術の基盤開発	岡本 裕之	(独)水産総合研究センター
4-1409	自然保護地域における協働管理のための情報交流システムの開発: 奄美大島をモデルとして	鷲谷 いづみ	東京大学
4RF-1401	島嶼部におけるRAKUEN指標の開発: 沖縄県石垣島・パラオ共和国を事例として	飯田 晶子	東京大学
4RF-1402	種内競争を用いた特定外来生物(オオヒキガエル)の駆除法の開発	原村 隆司	京都大学
安全が確保される社会部会			
5-1401	バイオ蛍光法によるアスベスト検出技術の実用化とナノ材料動態追跡ツールへの応用	黒田 章夫	広島大学
5-1402	水系感染微生物による水環境汚染の把握と指標微生物管理の限界に関する研究	田中 宏明	京都大学
5-1403	有機マーカーに着目したPM2.5の動態把握と正値行列因子分解モデルによる発生源寄与評価	熊谷 貴美代	群馬県衛生環境研究所

課題番号	課題名	研究代表者	実施研究機関
5-1404	人工構造物に囲まれた内湾の干潟・藻場生態系に対する貧酸素・青潮影響の軽減策の提案	中村 由行	横浜国立大学
5-1405	水銀の全球多媒体モデル構築と海洋生物への移行予測に関する研究	鈴木 規之	(独)国立環境研究所
5-1406	ネオニコチノイド系農薬の環境変化体の探索とその生態影響の調査	高梨 啓和	鹿児島大学
5-1407	ネオニコチノイド農薬による陸域昆虫類に対する影響評価研究	中牟田 潔	千葉大学
5-1408	PM2.5予測精度向上のためのモデル・発生源データの改良とエアロゾル揮発特性の評価	菅田 誠治	(独)国立環境研究所
5-1451	胎児期および幼児期における化学物質ばく露と児の発達やADHD傾向との関連性	仲井 邦彦	東北大学
5-1452	PM2.5成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究	高見 昭憲	(独)国立環境研究所
5-1453	黄砂、PM2.5の組成別毒性評価に基づく大気モニタリングと感受性者検査システムの構築	渡部 仁成	鳥取大学
5-1454	環境化学物質によるASD等の神経発達障害と環境遺伝 - エピゲノム相互作用の解明	岸 玲子	北海道大学
5-1455	潜在的自己抗体保有に関する疫学調査	黒田 嘉紀	宮崎大学
5-1456	大気環境の異なる地域におけるPM2.5及びオゾンの呼吸器系への影響に関する疫学研究	島 正之	兵庫医科大学
5-1457	黄砂とPM2.5による複合大気汚染の肺炎、アレルギー疾患憎悪作用とメカニズム解明	市瀬 孝道	大分県立看護科学大学
5RF-1401	安定同位体比を用いた二次生成粒子形成メカニズムの解明	川島 洋人	秋田県立大学